

平成28年度 第1回南丹市文化財保護審議会議事録

- 1 日時：平成28年11月14日（月）午後1時30分～
- 2 場所：南丹市役所 3号庁舎 2階第4会議室
- 3 会議出席者（順不同、敬称略）
文化財保護審議会委員 9名
河原信之、松本史郎、松本恵美子、大槻左門、小南仁、片山義宏、
湯浅照夫、谷口宏心、上島亨
市教育委員会事務局
岸本教育次長、寺田社会教育課長、辻課長補佐、井尻文化財保護係長、池田主事
傍聴人数 0名
- 4 開会
 - (1) 教育長挨拶（教育次長代読）
天然記念物としての「樹木」並びに歴史資料としての「小出文庫」について、南丹市の文化財としてふさわしいものかどうか、市文化財指定に向けての調査審議をお願いしたい。
 - (2) 会長挨拶
- 5 協議事項
 - ア、文化財事業の報告（平成27年度）
事務局（事業内容の報告）
 - イ、博物館事業の報告（平成27年度）
事務局（事業内容の報告）
 - ウ、平成28年度事業の概要
事務局（事業内容の報告）
 - エ、文化財指定について
 - 小出文庫について
事務局 前回審議会で委員から指摘いただいた各資料の法量の測定、及び奥付の一覧の作成についてはただ今計画中である。

○天然記念物（樹木）の指定について

事務局 天然記念物の指定について候補選定等について報告する。

これまでのところ、専門家の調査により候補リストを作成している。平成28年度上半期においては委員による現地確認を実施し、その後、代表委員による検討を行っている。その結果、南陽寺のカヤ、天引八幡神社のムクノキ、摩気神社の口の天狗杉の3本が天然記念物に指定するのが適切であると判断され、本日審議いただきたいと思う。

主な質疑・意見

- 対になるものは一括で指定するべきではないか。奥の天狗杉も併せて登録するべきではないか。
- 奥の天狗杉までは谷間の山道を徒歩で歩くことになり、山道の整備等問題が多い。
- 指定された後の対応と、どのようなメリットがあるのか。
- 天然記念物登録に当たって樹木の価値のみを判断基準にすべきではないか。
- 樹木の価値のみで登録するのはリスクが高すぎるのではないか。付随する諸所の条件も含めて考慮すべきと思う。
- 奥の天狗杉は継続審議とし、口の天狗杉、ムクノキ、カヤの3本の手続きを進めてはどうか。

（現地確認）－3本の樹木について現地確認

事務局 指定を受けることのメリットについては、立看板の設置は予定している。また、指定された場合のメリットについては、府からの補助が受けられることも考えられる他、地域のシンボルとしての利用が図られること等も考えられる。

樹木の指定について、口の天狗杉、南陽寺のカヤ、天引八幡神社のムクノキの3本の指定について、また、奥の天狗杉を継続審議について、審議会として決定願いたい。

決定事項

- 樹木の指定について、口の天狗杉、南陽寺のカヤ、天引八幡神社のムクノキの3本について指定の手続きを進めること
 - 奥の天狗杉を継続審議すること
- 以上2点について全委員により決定された。